

富津市社会教育委員会議会議録

1 会議の名称	平成21年度第2回富津市社会教育委員会議
2 開催日時	平成21年 8月21日 午後 3時02分～午後 3時55分
3 開催場所	富津市役所502会議室
4 審議等事項	(1) 第10回富津市生涯学習推進大会について
5 出席者名	(委員) 小泉清治、黒岩功充、三富和彦、小泉とき、三辻和夫、諸岡善藏、鈴木幹雄、藤川正美、佐久間勇、平山悟、高橋栄二 (事務局) 渡辺教育長、吉原教育部長、山中教育部次長、春木生涯学習課長、村石生涯学習課主幹、當眞主査、小川主事、羽山非常勤一般職
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当(理由)
8 傍聴人数	0人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 社会教育係 電話 80-1345
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第2回 富津市社会教育委員会会議録

発言者	発言内容
(事務局) 春木課長	(出欠席の報告) 稲村委員と綾部委員は出席予定であるが、まだ来ていない。そのため、今のところ出席委員は11名、欠席委員は2名となっている。また、高橋栄二委員は少し遅れるとのことである。したがって、社会教育委員会議運営規則第6条第1項の規定により、2分の1以上の出席があるので、会議は成立する。 (平成21年度第2回富津市社会教育委員会議の開会を宣言)
小泉委員長	(小泉委員長挨拶)
渡辺教育長	(渡辺教育長挨拶)
(事務局) 村石主幹	(資料の確認)
(事務局) 春木課長	(会議の公開についての説明) 議題に入る前に、会議録署名人の選出について協議願いたい。これより議事の進行は小泉委員長にお願いしたい。
小泉委員長	議題に入る前に、会議録署名人についてだが、私と高橋栄二委員でよろしいか。
委員一同	異議なし。
小泉委員長	会議録署名人は私と高橋委員に決定する。 続いて、議題に移る。第10回富津市生涯学習推進大会の開催について、事務局の説明を求める。
(事務局) 村石主幹	第10回富津市生涯学習推進大会の開催について説明をする。 去る7月15日に、この大会の主管である富津市生涯学習推進協議会を開催し、第10回生涯学習推進大会開催要項(案)をお示し

<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>したところ、その承認をいただいた。 (以下、本日の会議資料に基づき説明。 2 ページ目 第10回富津市生涯学習推進大会開催要項 (案) 1 趣旨、2 主催、3 共催、4 主管、5 期日について説明) 期日が予定となっているのは、先の生涯学習推進協議会では2月7日で承認をいただいたが、その後講師の方から2月7日はスケジュールの都合がつかないとの連絡が入ったため、現在1月31日で調整中である。 (6会場、7大会テーマ、8日程について説明) 次に生涯学習推進大会の司会進行は、昨年と同じく中央公民館で司会術のサークルを行っているグループクレマチスである。鈴木幹雄委員におかれましては、ご承諾いただきありがとうございます。よろしく申し上げます。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>よろしく申し上げます。</p>
<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>13時20分から13時50分にオープニング。昨年と同じく2組とし、どこへ依頼するかは事務局で検討することとなっているが、現時点では決定していない。 次に13時55分から14時15分の開会のことば、主催者あいさつ、来賓祝辞だが、開会のことばは生涯学習推進協議会会長である大野泰代会長が、主催者あいさつは生涯学習推進本部長である佐久間市長が行う予定である。来賓祝辞は、国会議員、県議員、市議会議員の方々を予定している。 次に、14時25分から15時55分の講演だが、講演をお願いした講師について、春木課長から説明をする。</p>
<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>(会議資料の講師プロフィールにて、説明) おもに食品に関することということで、演題については、富津市に合うものをお願いしたいとお願いしている。</p>
<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>それでは、大会開催要項 (案) に戻るが、15時55分に閉会のことばを生涯学習推進副本部長である渡辺教育長が行い、終了となる。第10回富津市生涯学習推進大会の開催についての説明は以上</p>

	<p>である。</p>
小泉委員長	<p>今、事務局から生涯学習推進大会の要項について説明があったが、これについて、質疑等を行いたい。何かあるか。</p> <p>説明の中で、日程に変更が生じているということだが、これについて異議はあるか。</p> <p>講師の都合で日程が変更されるということだが、1月31日で決定なのか。</p>
(事務局) 春木課長	<p>小泉先生は1月31日が今のところ空いているということだが、まだ生涯学習推進協議会には諮っていないので、最終的にはそこで決定する。現実には、それを変更することは難しいと思われる。</p>
小泉委員長	<p>それでは、予定は押さえてあるということか。</p>
(事務局) 春木課長	<p>はい。</p>
小泉委員長	<p>それでは、このことについてはよろしいか。異議はあるか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
小泉委員長	<p>他に何かあるか。</p>
(事務局) 當眞主査	<p>前回、生涯学習推進大会のポスターを藤川委員にお願いしたが、今年もご協力いただけると非常に助かるが、どうか。</p>
藤川委員	<p>がんばって作らせていただく。</p>
小泉委員長	<p>他にあるか。</p> <p>委員の方には、たいへん骨折りをいただいているが、グループクレマチスの鈴木委員は何かご意見はあるか。</p>

鈴木委員	特に意見はない。私の司会で良いかはわからないが、ご指名なので一生懸命やらせていただく。
小泉委員長	他に何かあるか。
黒岩副委員長	小泉武夫先生の話が出たが、この方は大堀の平野正明さんが大変親しくしている方である。また、カギサ醤油も、東京農大の研究室を訪れたことがあり、富津にわりあい近い方である。現在も平野正明さんが会長をしている食品研究会で、にんべんの社長などと一緒に活動している。そういったことから、この土地にあった方ではないかと思うし、この土地のためにいろいろなことをご提案していただけるよう、事務局からお願いしていただければと思っている。非常に良い人選ではないかと思っているので、一言申し上げる。
小泉委員長	<p>他にあるか。</p> <p>なければ、生涯学習推進大会については、この案に基づいて準備を進めていただきたいと思います。</p> <p>議題はこの一点なので、後は報告となる。会議次第4報告の①第44回君津地方社会教育推進大会について、私から報告したい。</p> <p>この第44回君津地方社会教育推進大会は、43回までは南房総教育事務所の管轄となっていたが、今回からは4市に任されるようになった。千葉県内には5つの教育事務所があるが、その中でこの君津地方の推進大会は、最後まで教育事務所が管轄しており、いよいよ今年から、業務移管となった。そのため、手探り状態の中で、今年度は木更津市が事務局を務めた。これから君津地方では、毎年大会を各市持ち回りで、例年の会長職と同じ順番制で、木更津、君津、富津、袖ヶ浦の順で行っていく。また、君津地方社会教育委員の事務局については2年ごと、君津地方社会教育推進大会の事務局については1年ごとに交代していく。大会の事務局と君津地方社会教育委員の事務局は別個のものと考えている。</p> <p>そして、実質は第1回だが、第44回君津地方社会教育推進大会を、7月25日にアカデミアホールの201・202会議室で行った。今までは500から600名くらいの規模で行っていたが、今回からは、規模は小さくとも中身の濃い大会にしたいということ</p>

小泉委員長

で、200名くらいの規模で行うこととなった。運営も今までは三者合同ということで、君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会、君津地方公民館連絡協議会、君津地方社会教育委員連絡協議会の三者で行ってきたが、社会教育委員のみで運営することとなった。参加については、公民館運営審議会委員連絡協議会、公民館連絡協議会ともに、社会教育に携わる方々ということで、参加していただき、別紙のとおり、総勢220名の参加をいただいた。

中でも、今まで新日鐵君津製鐵所のクローバー賞の表彰式を合同で行っていたが、またクローバー賞の表彰式をこの大会で行うことが正式に決定された。企業は地域貢献を図りたいと考えており、また私たちも企業から理解をいただき協力をいただけるのは幸いなことであると考えてるので、このような形になった。自画自賛ではあるが良い大会になったと思う。そこで、当日参加された委員の皆さんに、一言ずつ簡単に意見をいただきたい。まず、黒岩副委員長にお願いしたい。

黒岩副委員長

今委員長がおっしゃったが、自画自賛ではなくてその通りだと思う。前会長として基礎作りをしたのは、小泉委員長だと思う。そういう点では、非常にスムーズに大会が運営されていた。特にコンパクトになったためか、皆さんとのコミュニケーションがとりやすくなった。

もう一つ、新日鐵については、非常に優れた社会貢献の感覚を持っている会社であると思う。その社会貢献の窓口として、この社会教育推進大会が役割を果たしているのではないか。それにより、企業と地元の関係がスムーズにいくようになったのではないかと思う。

また、人数が少なかったが、それにより仲間との話し合いができるようになり、懇親する機会が増えたので、良かったのではないか。

ただ、教育委員会の方には、何かにつけてご負担がかかるかと思うので、よろしくお願いしたい。

この大会には、補助金の問題もあり、4市の社会教育委員長が4市の市長、教育長に対して、多少助成金を増やしてほしいというお願いをしたいとのことなので、その節はよろしくお願いしたい。

藤川委員	<p>私の印象では、参加者は教員の方が多かったように感じた。それと木更津市前教育長の西村氏のお話は、現場を渡っていろいろ工夫されてきたということで、非常に興味深かった。その中で一番感じたのは、時代の変化が激しいということだ。話の中で非常に驚いたのは、「隣のお子さんの名前をフルネームで言えますか」と言われて、私は近くに小学校就学前の子どもがいるが、言えなかったし、思い出せなかった。それを考えた時に、今個人情報などの問題もあるが、隣近所との行き来が非常に少なくなっていると感じた。内容としては、非常に良い内容で、素晴らしい大会になったと思う。</p>
佐久間委員	<p>社会教育というのは、行政が段取りをするものではなく、自ら手作りしていくものだということで、今回県から離れて開催されたが、会場のアカデミアホールが非常に良くて、低コストで良くできたなと思った。その後、18日に反省会を行ったが、4市のつながりがあり、良く意思疎通ができていたと感じた。来年は君津で行われるが、このまま継続していき、お互いに叱咤激励しながらやればいいのではないかと思った。</p>
平山委員	<p>私の場合は、会社自体が新日鐵の中にある関係があり、新日鐵としても地元とを大切にするという姿勢を持っていたので、クローバー賞の表彰があので大会で行われたのはありがたいなと思った。</p> <p>また、藤川委員も言ったように、私も隣の家の子どもの名前を言えなかった。やはり、それだけ隣とのつきあいがなかったので、それをこれからどうしていくかを考えさせられた。</p>
高橋委員	<p>まず、この大会が続けられたことがうれしい。大会をどうするかという話があって、このままなくなるのではないかという話もあったので、小泉委員長に職員の側として感謝している。</p> <p>それから、この大会から生涯学習から社会教育という名称に変えて行われたが、これも第1回からすると再再再スタートくらいになる。こういう形で今後続けていけたらと思っている。経費が限られているので、著名な講師が来るわけではないが、4市の中で今回の西村先生のような地域で活躍されている方を発掘し、あらためて社会教育について考える機会になると良いと思う。</p>

高橋委員	<p>個人としては、西村先生のお話は何度か聞いている。木更津には学校支援ボランティアがあるが、あのような形で多くの方に話を聞く機会があるのは良いのではないかと思う。西村先生自身は「おやじ木更津」という団体を作ったが、これはPTAがどちらかという母親たちの会になっているのに対し、父親が集まって女性だけではなかなかできないことをやろうということで、「おやじの会」をいろいろなところでつくっていきこうと言っていた。</p> <p>今度は君津に期待したい。</p>
小泉委員長	<p>今、参加した委員から意見をいただき、おおむね良かったという言葉はいただいたが、この大会が続くよう頑張っていきたい。</p> <p>皆さんのお話にあったが、講演の中の隣の子どもを知っていますか、という話は、隣の子どもを3人以上知っている平均だそうである。3人知らない人が多いとのことだ。皆さんも確認してみしてほしい。①第44回君津地方社会教育推進大会についての報告は以上である。</p> <p>②公民館運営審議会について、これも私から報告したい。</p> <p>過日、公民館運営審議会が中央公民館で行われ、文化祭について話し合ったが、これについては例年通り開催するとのことである。</p> <p>また、年明けの2月9日に、赤坂設計のもとで中央公民館の耐震診断を行うことが入札で決定したとのことである。トイレのバリアフリー化や冷房、舞台へ上がる階段などの修繕について、議題が出ていたが、この耐震診断の結果によって検討することとなった。</p> <p>続いて、③富津市民文化事業「ふつつ学びの門」についてだが、12月13日に富津公民館で、わらび座によるミュージカル「おくのほそ道」を行う。チケットの発売は9月8日9時から開始されるので、ぜひともご参加いただきたい。内容については、事務局に説明をお願いしたい。</p>
(事務局) 春木課長	<p>つい先だって、市民会館で会議を行い、パンフレットを市内に配って、9月8日からチケットの発売を始めることとなった。S席、A席とあるが、実際A席はほとんど後ろの数列である。それは、いろいろな装置の関係で、環境が若干落ちるのでA席にしたようだ。実質的には、一番後ろで見てもほとんど問題はないとのことである。</p>

<p>(事務局) 春木課長</p>	<p>る。</p> <p>問題は、わらび座という劇団を知っている方は非常に多いが、知らない方もいるので、広報などを使って周知していき、700数十席をなんとか一杯にしたいと考えている。</p> <p>時間は110分間くらいで、楽しく笑える内容だそうなので、皆さんもこういったものがあるということを伝えていただきたい。</p> <p>チケットの売り場については、生涯学習課、富津公民館、中央公民館、市民会館の4か所である。</p> <p>このような形で行うので、ご協力をお願いしたい。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>わらび座については、このミュージカルのPRのため、11月に行われる文化祭のなんでもヤリーナに出演するそうなので、時間があったら、見学に出ていただきたい。</p> <p>続いて、④電話番号入りの委員名簿についてだが、前回委員名簿に電話番号を載せてほしいという意見があったため、委員全員の了解をいただいたということである。事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>(事務局) 村石主幹</p>	<p>電話番号入りの委員名簿は、前回、小泉委員長から提案されたものである。その後、事務局で全委員と連絡をとり、了解をいただいたので、本日配布させていただいた。</p> <p>なお、個人情報が記載されているので、取扱いには十分注意していただきたい。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>報告は以上だが、他に何かあるか。</p>
<p>三富委員</p>	<p>学校関係のことでお話したい。</p> <p>まず、10月30日に富津市内小中学校の児童生徒による音楽のつどいがある。場所は富津公民館である。足を運んでいただければと思う。</p> <p>また、造形や科学工夫作品の入賞作品の展示は、11月1日、2日、3日に、同じく富津公民館で行っているなので、よろしく願いしたい。</p>

小泉委員長	その他にあるか。
藤川委員	<p>前回会議の時に、社会教育事業について提案すると言ったが、忘れてしまっていた。</p> <p>年4回会議があるが、何か残していかなければならないといつも思っていた。それぞれの分野の代表の方が集まって、富津市の社会教育を良くしていこうと話し合いをしているが、経過報告や事業報告が主で、委員独自で何かをするということが非常に少ないのではないかというのが個人的な意見である。</p> <p>前回資料の平成21年度社会教育事業の概要の中で、16番目に図書活動の充実があるが、こういう部分でも一つ何かを取り上げて、委員がそれぞれ調べて充実に向けて何かできればよいのではないかと思う。これが私の提案事項である。</p>
小泉委員長	<p>また、回ごとにいろいろな提案をしていただければと思う。社会教育委員活動が少しでも進歩するよう、皆さんに意見を出していただきたい。</p> <p>その他についてだが、私から諸岡委員にお願いしたい。先日の学びの門の会議で、ミュージカル「おくのほそ道」のポスターを各地区の集会場、公民館などの公共の施設に掲示することになった。これから各区長に対し、ポスター掲示のお願いがあると思うので、その節はよろしくお願いしたい。</p>
諸岡委員	了解した。
小泉委員長	<p>そのほかに何かあるか。</p> <p>他にないようなので、これで本日の議題は終了する。</p>
(事務局) 春木課長	(第2回富津市社会教育委員会会議の閉会を宣言)